

永遠に輝き続ける孤高の天才ピアニスト

フジコ・ヘミング 昼下がりのコンチェルト

魂のピアニスト、
名門オーケストラとの
豪華な競演

ピアノ: フジコ・ヘミング

指揮: マリオ・コシック

管弦楽: 関西フィルハーモニー管弦楽団

©中島英雄

※新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の予定よりオーケストラを変更しています。

ショパン: ピアノ協奏曲 第1番より
第2楽章

モーツァルト: ピアノ協奏曲 第21番
ハ長調 K.467

リスト: ラ・カンパネラ

ベートーヴェン: 交響曲第7番
Op.92 イ長調

※都合により演奏曲目、演奏曲順等が変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

2021 **12.13** 月 15:00開演(14:00開場)
神戸国際会館こくさいホール

S席 12,000円 A席 10,000円 B席 8,000円 C席 6,000円
(全席指定・消費税込)

主催: コンサート・ドアーズ / キョードー 企画制作: コンサート・ドアーズ

■お問合せ キョードーインフォメーション 0570-200-888(11:00~16:00 日祝休み)

※未就学児の入場不可。

■一般発売日 9月18日(日) 10:00~

チケット取り扱い

■チケットぴあ <http://t.pia.jp> 0570-02-9999 (Pコード:)

■ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード:)

■CNプレイガイド 0570-08-9999
<https://www.cnplayguide.com/>

■e+ (イープラス) <http://eplus.jp>

■神戸国際会館プレイガイド 078-230-3300
(10:00~18:00 火曜休み)

フジコ・ヘミング 昼下がりのコンチェルト

F u z j k o H e m m i n g



フジコ・ヘミング (ピアノ)

●Fuzjko Hemming

日本人ピアニストの母と、ロシア系スウェーデン人デザイナーの父を両親として、第二次世界大戦直前のベルリンに生まれる。父と別れ、東京で母の手ほどきでピアノを始める。東京藝術大学を経て、28歳でドイツへ留学。ベルリン音楽学校を優秀な成績で卒業。その後演奏家としてキャリアを積み、バーンスタインなど世界的音楽家からの支持を得るが、大切なリサイタル直前に風邪をこじらせ聴力を失う。失意の中、ストックホルムに移住。ピアノ教師をしながら、欧州各地でコンサート活動続ける。

1999年には、フジコのピアニストとしての軌跡を描いたNHKのドキュメント番組、ETV特集『フジコ～あるピアニストの軌跡～』が放映され大反響を巻き起こす。「フジコの演奏をもっと聴きたい」という視聴者からの要望が殺到し、番組は幾多に及び再放送され、さらに続編「フジコ、ふたたび～コンサート in 奏楽堂」も放送された。同年に発売されたファーストCD『奇蹟のカンパネラ』は200万枚を超える売り上げという、クラシック界異例の大ヒットを記録し、いまだにその記録を更新し続けている。その稀有な半生が

フジTV系列で菅野美穂主演でドラマ化され、高視聴率を獲得し人気を不動のものにした。

これまで2枚のCDで日本ゴールドディスク大賞、4度にわたる各賞のクラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。世界各国の公演に出演し続け、その名声を海外に広げている。

マリオ・コシク (指揮)

●Mario Kosik

マリオ・コシクは2006年以来スロバキア国立放送交響楽団の音楽監督を長年にわたり務め、国内外で高く評価されている。

2001年にチェコのカールスバード・シンフォニー・オーケストラの首席指揮者に任命。これを機に、ブラハ室内管弦楽団、ヤナーチェク・フィルハーモニー管弦楽団(オストラヴァ)、など、ヨーロッパでも有数のアンサンブル、管弦楽団や歌劇場に客演として招待される。モラヴィア・フィルハーモニー管弦楽団との共演で2006年に初来日し、成功をおさめ、その後日本には何度も招聘されブダペスト・フィルハーモニー管弦楽団、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団などとも共演。定期的にスロバキア国内の指揮台に立ち確固たる地位を確立するほか、世界各国の異なるオーケストラやアーティストとともに数々のコンサートを行い、国際的にも名声の高い指揮者として活躍を続けている。



関西フィルハーモニー管弦楽団

●Kansai Philharmonic Orchestra

1970年に発足した関西を代表するオーケストラ。2018年公益財団法人化。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが2011年より音楽監督に就任し、首席指揮者の藤岡幸夫、桂冠名誉指揮者の飯守泰次郎とともに、聴衆の心に感動と勇気を伝えるべく活動を展開している。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視している。2015年5月から6月にかけては、スイス・ドイツ・イタリア3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー(合計5公演)を開催し、各地で大きな注目を集めた。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜8:30)に藤岡幸夫と共に出演中。2020年に楽団創立50周年を迎えた。

オフィシャル・ホームページ <https://www.kansaiphil.jp/>

入場券ご購入にあたり、次のことをあらかじめご承知おき下さい。 ①やむを得ない事情で出演者、曲目が変更になる場合がございます。 ②未就学児のご入場はお断りさせていただきます。 ③お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更はできません。 ④開演後は、自席にお座りいただけない場合がございます。余裕を持ってご来場下さい。 ⑤場内での写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。 ⑥ネットオークションなどによるチケット販売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。

感染対策にご協力ください。 ①マスクの着用をお願いします。 ②37.5度以上の発熱がある場合は、ご来場をお控えください。 ③出演者への面会、花束等はご遠慮ください。